

# McAfee DLP Manager

McAfee® DLP アプライアンスの管理を一元化

今日の組織は、ネットワーク内に膨大な量の電子情報を保管しています。メールやインスタントメッセージング (IM) を通じて送信された情報やデータベースやファイル共有システムに保管されている情報、USB ドライブにダウンロードされて別の場所に転送された情報など、ビジネス上重要な情報か、あるいは機密性が高い情報です。機密性を問わず、ネットワーク内にどのような情報が存在し、誰がその情報にアクセスしているかを理解することは、すべての企業のセキュリティ戦略にとって非常に重要です。機密情報の損失やそのセキュリティ低下が発生することは許されません。情報漏えいのリスクを低減するために、McAfee DLP Manager は、直感的に操作できる 1 つの管理コンソールから機密情報を特定し、そのアクセス情報、保存先、転送先、使用状況を管理できるように支援します。

## 主な利点

### システムの一元管理

- ・ポリシーとルールを統合できます。
- ・インシデントワークフローを合理化できます。
- ・包括的で柔軟なレポートを提供します。
- ・デバイスを設定および管理できます。

### ケース管理とワークフローの統合

- ・一般的なインシデントを統合します。
- ・所有権と修復を委任できます。
- ・役割ベースのアクセス権と許可でユーザーを制限できます。

### データの検索、マイニング、分析

- ・履歴データをすばやく検索できます。
- ・機密データを検索し、その使用方法を把握できます。
- ・ルールを迅速に調整して即座に検証できます。
- ・ユーザーの調査を実行できます。

### さまざまな手法でのインシデントのフィルターとグループ化

- ・インシデントのリスト作成、グループ化、概要作成を行えます。
- ・自動的にインシデントを割り当てられます。
- ・動的にインシデントをフィルターおよびグループ化できます。
- ・誤検出ワークフローを表示できます。

## エンドツーエンドの情報漏えい防止管理

McAfee Data Loss Prevention (DLP) Manager は、ネットワーク内に複数の McAfee DLP アプライアンスを導入している中規模から大規模環境向けの製品です。McAfee DLP Manager では、直感的に操作できる一元管理インターフェースを通じてこれらのアプライアンスを完全に制御することができます。McAfee DLP Manager があれば、ネットワーク全体に分散されているすべての McAfee DLP アプライアンスとホスト DLP エージェントを単一のビューで確認できます。これにより、機密データの理解と保護にかかる時間とコストを最小限に抑えることができます。

McAfee DLP Manager では、中央のコンソールから次のような機能を実行できるため、セキュリティインフラストラクチャの管理と保守に関連する運用コストを削減できます。

- ・すべてのポリシーとルールの管理
- ・インシデント / ケース管理ワークフローへのアクセス
- ・1 台または複数の McAfee DLP アプライアンスに対する検索の実行
- ・複数の McAfee DLP アプライアンスの設定と監視

## インシデントワークフロー / ケース管理のコラボレーション

McAfee DLP Manager は、セキュリティ環境全体の許可およびワークフローフレームワークと、役割ベースのアクセス制御を提供します。同一の組織の複数のユーザーが、インシデントワークフローおよびケース管理でコラボレーションを行うことができます。

部門の境界を越えた取り組みをサポートする McAfee DLP Manager により、サポート人員を

増やさずに情報の保護を拡張することができます。各分野の専門家（たとえば、法務、人事、コンプライアンス、コンテンツやビジネスの責任者）をインシデントの検証、分析、修復に従事させることも可能です。また、保護が必要なデータの定義も支援します。

## 役割に基づいたインシデントビューの制御

完全な役割ベースのアクセス制御により、マクロレベルのリスクレポートおよび統計情報と、組織の職務に直接対応付けられたマイクロレベルのインシデント情報およびアクションのビューを確認できます。これらのビューは、役割別のアクセス権を通じて制御されるため、ユーザーは自分の職務に関連するインシデントのみを表示できます。たとえば、役割ベースのアクセス制御によって、コンプライアンス部門のユーザーが特定の管理タスクを実行できないように設定できます。また、このユーザーには知的財産に関するインシデントは公開されず、コンテンツ所有者にはプライバシーやコンプライアンス関連データに関わるインシデントは公開されません。

## ポリシーとルールを一元化

- ・ポリシーとルールを一部またはすべての McAfee DLP アプライアンスに自動的に配布できます。
- ・メール通知、暗号化、ブロック、検疫、リダイレクト、差し戻しを含むアクションルールを構成して配布できます。

## インシデントワークフロー

- ・統合インシデントダッシュボードでインシデントの関連付けを一元化できます。
- ・組み込みケース管理ツールを通してインシデントをエスカレートできます。

- 重要なユーザーに特定のケースの権限を委譲できます。
- 誤検出ワークフローを使用して誤検出を排除できます。
- ワークフローの変更によって影響を受けるルールを自動的に更新できます。

#### ケース管理

- 修復を必要とし、同一の関係者が関与するグループ関連インシデントを統合して対応できます。
- 柔軟なインシデント/ケースロジックを実装：複数のインシデントを1つのケースに含めることも、単一のインシデントを複数のケースに含めることもできます。
- さまざまなチームにインシデントをエスカレーションできます。
- ケースの過去の監査証跡（メモを含む）にアクセスできます。
- オフラインで表示するためにケースをエクスポートできます。
- ケースが変更された場合、ケース所有者に通知をメールで送信できます。

#### レポートとインシデント

- ネットワーク内に存在するすべての McAfee DLP アプライアンスまたは McAfee DLP Endpoint エージェントによって生成されたすべてのインシデントの一元的なビューにアクセスできます。
- 1台、複数、またはすべての McAfee DLP アプライアンスを網羅するレポートを生成できます。
- パッケージ化されている50のレポートの作成を自動化できます。それぞれのレポートはカスタ

マイズ可能で、PDF または CSV 形式でメールで自動配布されるようにスケジューリングできます。

#### 動的なフィルタリング

- 情報をすばやくフィルタリングして特定のデータビューを表示できます。
- テーブルビュー内でセルのコンテンツをクリックして、フィルターを自動的に生成できます。
- フィルターを動的に追加、削除、合成できます。

#### 定義済みの役割

- 定義済みの役割を使用して、管理者、法務、人事、コンプライアンス、運用、情報セキュリティなど、組織内の重要なチームのメンバーを迅速にセットアップできます。
- 数回のクリックによる簡単な操作で追加の役割を定義できます。
- 役割にきめ細かく権限を割り当てられます。
- Microsoft Active Directory と統合し、中央管理型認証サービスを提供します。

#### 一元デバイス管理

- 単一のインターフェースから McAfee DLP アプライアンスを設定および管理できます。
- 管理対象の McAfee DLP アプライアンスのステータス（CPU 使用率、ディスク使用率、ネットワークスループットなど）を確認できます。
- すべての管理対象の McAfee DLP アプライアンスによって生成されたすべてのアラートを表示できます。

#### 仕様：McAfee DLP 5500 アプライアンス

コンポーネント	説明
プロセッサ	2x Intel E5-2620 6 コア、15M キャッシュ、2.0GHz、7.20GT/s Intel QPI
メモリー	32GB DDR3-1333MHz
電源	2x760W ホットスワップ電源モジュール
ハードドライブ	8x2TB SATA7、200RPM ドライブ
NIC カード	Intel Dual Copper 1Gbps イーサネット I/O モジュール
IPMI	Intel Remote Management Module 4 (AXXRMM4)
製品寸法	2 ラックユニット (2U)

#### 仕様：仮想マシン

McAfee DLP Monitor は、VMware 環境で稼働できる仮想アプライアンスとして利用できます。仮想アプライアンスを実行するための最小ハードウェア要件を以下に示します。

コンポーネント	要件
プロセッサ	Intelx86 4x vCPU
メモリー	RAM 16GB
ハードディスクドライブ	ドライブ 1：最小サイズ：100 GB (VM ソフトウェア用)
	ドライブ 2：最小サイズ：512 GB (DLP 仮想イメージ用)
ネットワーク	4x 仮想 NIC
BIOS	VT スレッドの有効化



東 京 本 社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト20F  
TEL:03-5428-1100(代) FAX:03-5428-1480

西 日 本 支 店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F  
TEL:06-6344-1511(代) FAX:06-6344-1517

名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17 中東東京海上ビルディング3F  
TEL:052-954-9551(代) FAX:052-954-9552

福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8 アクア博多5F  
TEL:092-287-9674(代)

●製品、サービスに関するお問い合わせは下記へ